

令和2年 第9回定例会

# 岩見沢市教育委員会会議録

令和2年9月18日 開会

令和2年9月18日 閉会

岩見沢市教育委員会

# 令和2年 第9回定例会

## 岩見沢市教育委員会会議録

(令和2年9月18日)

### ○本委員会に付議した議件

- 1 報告第14号 教育長の一般経過報告について
  - 2 議案第49号 令和2年度岩見沢市教育振興表彰について
  - 3 議案第50号 岩見沢市GIGAスクール構想推進計画の策定について
- そ の 他

### ○本委員会に出席した者

教 育 長	三 角 光 二
委 員	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	杉 野 幹 夫
委 員	菊 池 亜 希

教 育 部 長	井 筒 亨
社会教育・子育て支援担当次長	所 美 穂 子
学 校 教 育 課 長	戸 沼 貴 志
指 導 室 長	寫 野 郁 夫
学 校 給 食 課 長	田 公 寿 幸
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	白 石 丈 人
教 育 施 設 課 長	是 廣 敏 明
図 書 館 長	中 川 和 彦
緑陵高等学校事務長	杉 田 操
事務局学校教育課総務係長	石 川 貴 規
事務局学校教育課総務係	岩 端 浩 太

午前10時00分 開会

○三角教育長 それでは、ただ今から令和2年第9回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、武蔵委員さんをお願いいたします。

初めに、日程番号1、報告第14号 教育長の一般経過報告について 私から説明いたします。

報告第14号をお開きください。

8月11日から9月13日までの経過報告となります。

8月20日の今年度第1回の経営塾においては、withコロナ、ポストコロナのこれからの学校経営、学校づくりということで私から話をしております。

8月31日、養成塾におきましても、学校づくりに主体的に関わる教諭の在り方についてということで、1時間程度のお話をしています。

8月24日、第1回実践塾で本市が全校的に取り組んでいるピア・サポートの理論と実践を研修しております。

8月26日、第30回新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、国や道の対応について確認したところです。

8月27日、志文小学校跡の碑を設置していただいたということで、溝口石材工業の代表者の方に感謝状を贈呈しています。

9月2日、岩見沢地方法人会より液体石けんの寄附を受け取っています。

9月4日のアスリート奨励金は、日本ボクシング連盟の女子強化選手に指定された高校1年生の選手に贈呈しているところです。

教育委員視察につきましては、8月31日北村地区、9月11日栗沢地区で実施しております。また、その合間を縫ってですが、8月21、28日、それから9月1、3、8、10日の6日間にわたって、それぞれ授業参観を私のほうで行っております。また、その際、希望する7名の先生方と授業についての懇談を行っています。

以上で、私からの一般経過報告を終わります。

委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 では、ご意見、ご質問等がなければ、本報告については終了いたします。

続きまして、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○井筒教育部長 議案第49号 令和2年度岩見沢市教育振興表彰について。

令和2年度教育振興表彰の被表彰者の選定について、ご審議を願うものであります。

議案第50号 岩見沢市GIGAスクール構想推進計画の策定について。

教育委員会が策定する岩見沢市GIGAスクール構想推進計画について、ご審議を願うものであります。

以上です。

○三角教育長 それでは、日程番号2、議案第49号 令和2年度岩見沢市教育振興表彰についてを審議いたします。説明をお願いいたします。

○戸沼学校教育課長 それでは、議案第49号 令和2年度岩見沢市教育振興表彰について、ご説明いたします。

本表彰につきましては、去る9月7日教育長を委員長とする選考委員会を開催いたしまして、岩見沢市教育振興表彰基準の第2条に基づきまして、2名の方々を被表彰候補者として選考いたしましたので、ご審議をいただくものでございます。

候補者の功績等につきましては、担当課長から説明をさせていただきます。

○白石生涯学習・文化・スポーツ振興課長 それでは、私から令和2年度岩見沢市教育振興表彰の被表彰候補者について説明をさせていただきます。

最初に、体育功労として、岩見沢市軟式野球連盟の武内莞爾氏でございます。

武内氏は、昭和57年に岩見沢市軟式野球連盟に所属。それ以来、審判技術の向上に努め、平成4年には、当時、審判員資格の最高位となるアマチュア野球公認一級審判員の資格を取得。各種大会において活躍するとともに、後進の指導にも力を注いでこられました。また、平成4年から岩見沢市軟式野球連盟の理事として副審判長、平成13年からは、審判部長を10年間務められたほか、平成26年からは同連盟の参与。そして、平成元年からは、副理事長を務められており、組織の運営並びに岩見沢市の野球発展にご貢献され、大人から子どもまで身近なスポーツとしての野球を通して、市のスポーツ発展にご尽力されております。

以上のことから、岩見沢市教育振興表彰基準第2条第2号に基づき、表彰いたしたく、ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

次に、社会教育功労として干場法美氏でございます。

干場氏は、合併前の栗沢町において、平成12年から社会教育委員としての活動を始められ、平成16年には副委員長に就任。平成18年の市町村合併後も引き続き、当市の社会教育委員として活動を続けられ、平成22年から今年3月までは、岩見沢市社会教育委員の会議の副議長を務めてこられました。この間、平成26年からの5か年を計画期間とする第1期、令和元年度からの5か年を計画期間とする第2期の岩見沢市社会教育中期計画の策定に携わるなど、本市の社会教育行政の発展に尽力されてこられました。また、岩見沢市教育行政点検評価検討委員、岩見沢市防犯協会常任理事、岩見沢市町会連合会総務部長を務められるなど、教育行政にとどまらず、市政全般にわたり幅広く活躍をされております。

以上のことから、岩見沢市教育振興表彰基準第2条第1号に基づき、表彰いたしたく、ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

説明は以上でございます。

○三角教育長 ただ今、議案第49号についての説明がございました。2名の方が推薦者として示されておりますが、委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いいた

します。

○武蔵委員 特にありません。

○三角教育長 よろしいですか。

それでは、この件について、ご異議がなければ、このようなことでご決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 議案第49号につきましては、原案のとおり、決定いたします。

なお、今年度の表彰式につきましては、11月4日水曜日、ホテルサンプラザでの開催を予定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、例年、表彰式後に行っていた食事会を行わず、表彰式開始時間を例年より早める予定ですので、よろしくお願いたします。

続きまして、日程番号3、議案第50号 岩見沢市GIGAスクール構想推進計画の策定についてを審議いたします。説明をお願いいたします。

○戸沼学校教育課長 それでは、議案第50号 岩見沢市GIGAスクール構想推進計画の策定について、ご説明いたします。

資料は、岩見沢市GIGAスクール構想推進計画の本編、そして概要版を最後に添付しております。

まず、本計画は、国のGIGAスクール構想実現に向けまして、児童生徒一人一台の端末、そして、各学校における高速大容量の通信ネットワーク環境の整備を行っていくものですが、整備財源として活用する国の補助金の交付要件として、国が指定する各項目に関する計画の策定、そして、市民への公表が必須となっておりますので、計画の内容を決定すべく、ご審議をいただくものでございます。

そこで、概要版の「GIGAスクール構想の実現に向けた岩見沢市の計画について」をご覧いただきたいと思いますが、本計画は、「ICT活用計画及び達成状況を踏まえたフォローアップ計画」、そして、「通信ネットワーク環境整備計画」、さらには、「学習者用コンピュータ配備計画」の三つの計画で構成されており、最初の「ICT活用計画及び達成状況を踏まえたフォローアップ計画」では、各年度におけるICT活用目標として、現在パソコン教室のパソコン等を週1回から月1回程度の活用であるものを、タブレット端末の整備後は段階的に活用頻度を高めまして、令和5年度には、一日5回から6回以上の活用、つまり、ほとんどの授業で活用することを目標としております。

授業内容のイメージの例を申し上げますが、これまでの授業では、模造紙やホワイトボードを用いていたグループ学習をiPadのアプリを活用したグループでの発表資料の作成等によりまして、授業の理解深化に活用したり、授業終盤の振り返りの際には、これまでは一部の子どものしか発表できなかったものをアプリの活用により、クラス全体に共有するといった使い方など、様々な場面での活用を想定しております。また、臨時休校や分散登校期間中等においても、ICTを活用したオンラインによる学習支援として、朝

の会の実施や課題の配信などができる環境を構築してまいりたいと考えております。

指導体制の強化や働き方改革への対応については、教育研究所ICT部会の先生方が先駆的に取り組んでいる「iPadを活用した授業づくり」の手引きを策定いたしまして、モデル授業を全校、全教員に普及させる取組みを進めるほか、悉皆研修やフォローアップ研修を通じて、教員のICT活用スキルの向上に努めることとしております。

次に、通信ネットワーク環境の整備計画ですが、令和2年度中に全小・中学校と緑陵高校の整備を行いまして、全ての普通教室などにWi-Fi環境を整備することとしており、前期工事の12校は10月中に、後期工事の12校は3月中に、それぞれ整備が完了する予定となっております。

最後に、学習用コンピュータ配備計画ですが、当初は年次計画で段階的に児童生徒の端末を整備する予定でありましたが、このコロナ禍での国の方針転換もありまして、令和2年度中に全児童生徒分の端末を整備するとともに、教員の端末についても市費において整備することとしております。

なお、端末については、当初の予定よりも早期の納品が見込まれ、10月から11月にかけて順次納品をされる予定となっております。

以上が、岩見沢市GIGAスクール構想推進計画の概要であります。事務局といたしましては、端末や通信環境を早期に整えることはもちろんであります。これらの環境を有効に活用し、子どもたちの学びの質を高めていけるよう様々な工夫を凝らしながら取り組んでいきたいと考えております。

以上、本計画について、ご審議のほどよろしくお願いをいたします。

○三角教育長 ただ今、議案第50号についての説明がございました。委員の皆様からご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

○菊池委員 臨時休校等のときにモバイルルーターの貸与と書いてあるんですが、どのようなものを想定しているのか、栗沢地区だと使えないものがたくさんあるので、その辺が気になるなと思っております。

○戸沼学校教育課長 光ファイバーの敷設状況など、地域によってそれぞれ状況が違いますので、例に出されました栗沢地区で、どの程度十分に活用できるかというのは、今の段階では見えないところも正直あります。ただし、教育委員会以外で、市の補正予算により栗沢地域の通信環境整備を進めるという予算も計上されておりますので、そのような予算化がされましたら、時期は明確ではありませんが、通信環境整備工事へと進んでいくということがありますので、そのような点も考慮しながら、子どもたちが有効に使えるような環境を考えていきたいと考えております。

○菊池委員 わかりました。ありがとうございます。

○三角教育長 ほか、いかがでしょうか。

○杉野委員 今のところに関わってなんです。家庭でのインターネット環境というのは、結構、格差があるのかなと思うんですね。今年も臨時休校になって、オンラインによる指

導が、かなり期待するところも大きいのかなと思うのですが、インターネットが未整備の家庭とか、家庭の状況の調査というのはなされているのか、あるいは、これからするのか、お聞かせいただきたいと思います。

それと、もし今後コロナの影響で臨時休校等になれば、オンラインの指導というのが入ってくるのかなと思うんですが、実施となった場合の家庭への周知や保護者への説明について、特に低学年の場合は必要になってくるのかなと思います。その辺、どのように考えていらっしゃるか教えていただきたいと思います。

○戸沼学校教育課長 2点のご質問ですが、まず、1点目の家庭のインターネット環境についてですが、今年度、各ご家庭に対して、ご家庭のインターネット環境について調査を実施しております。その調査は、お名前を書いていたということではないんですが、まず、どの程度未整備のところがあるのか、そういうことを把握するために調査をさせていただきました。そして、今後、10月に想定しておりますが、実際にコロナによる臨時休校等が起きたときに、家庭での学習のために、例えば、教育委員会が用意する端末及びモバイルルーターを必要とするか否か。こういうことも改めて、今度はお名前を書いた形でご調査を予定しております。そういうことを踏まえた上で、臨時休校になったときに、速やかに家庭での学習環境を整えるよう取り組んでいきたいと考えております。

次に、保護者等への周知のお話でございますが、まず今、市教委でどのようなことを進めているのかということについては、今般発刊いたしました、教育広報の中でGIGAスクール構想のことについて周知をさせていただいております。さらに、各学校にも、今後、臨時休校が起きたときに、それぞれの学校での対応も多少変わってきますので、それぞれの学校ではどのような対応をするのか、そういうことを保護者の方に周知してほしいということでお話をしまして、今後、順次各学校からご家庭へ、それぞれの学校の対応について周知される予定となっております。

このようなことも踏まえて、臨時休校になったら、環境が整うまで時間を要しては意味がありませんので、短時間で切替えができるような、そういうことの実施も続けていきたいと考えているところです。

以上です。

○三角教育長 よろしいですか。ほか、いかがですか。

○武蔵委員 悉皆研修について、どのような研修か教えてください。

○鳥野指導室長 悉皆研修ですが、今説明がございましたが、機器が配備されても、それを使う教員が指導力を上げなければいけないということで、市内小・中学校の全教員を対象とした研修を行います。

○武蔵委員 ありがとうございます。全員受講する研修ということですね。

それと、臨時休校や分散登校時は別として、平常時のタブレットの管理はどのようにしていくのかというのが1点。

今、教員の研修の話ありましたが、やはり、スキルを全体的に上げていかないと使いこ

なせる先生、そうでない先生と出てくると思いますが、その辺に対する指導の考え方について。悉皆研修もあるんですが、個別のスキルアップについて、どのように考えているかということをお教えいただきたい。

○戸沼学校教育課長 1点目のタブレットの管理についてですが、基本的には、各学校で保管をしていただくということになります。各学校には充電保管庫が設置され、たくさんのタブレットを一遍に充電し施錠管理できる機器も整備する予定となっております。各学校で、例えば、乱暴に扱われるとか、なくなってしまうとかということも考えられますので、そのような管理もしっかりとやるという前提で、各学校にお願いするということをお考えしております。

○寫野指導室長 2点目のご質問の教職員のスキルアップのことです。

悉皆研修は、先ほど、ご説明したとおりですが、現在、教育研究所の第4部会で6名の教員がICTを活用した授業づくりの研究をしております。この6名は、非常に堪能な教員を意図的に選び研究を進めているわけですが、資料にも記載がありますが、ICTを活用した授業づくりの手引きを作成します。併せて指導室からもオンライン授業の教える考えさせる場面を想定しながら、悉皆研修をする。そして、その後は、その手引きに従って、各学校での研修を深めてもらう。そして、授業づくりをしているICT部会が、模範授業をしながら自分の学校で実践をし、それを市内に還元していく。そして、公開研を行う。そういう様々な部分を通して、先ほど説明があった各年度の数値目標の設定をしながら、検証し、スキルアップを図るということをお考えしております。

○三角教育長 オンライン授業としてあるのではなくて、日常授業がオンライン授業につながるような、日常授業の教える考えさせる授業をベースとしながら、オンライン授業につなげる、そんな指導方法を今、取り組んでいるところです。

○武蔵委員 今現在も、同じ単元でも学校によって、一人の先生が考えるところと、チームで考えるところとがあるが、せっきくオンラインになるのだから、市内全てで同じような授業ができるようになっていけばいいなと思いますので、これを機に、ぜひ研究所の力も発揮していただきたい。

○三角教育長 教員格差がないということも、取組みをしていきたいですね。

ほかございますか。

○杉野委員 タブレット端末の整備についてなんですが、少し心配なのが次期更新入替えなんですが、計画を見ると令和5年度までは今の導入されるタブレットを使うという前提だと思っておりますよね。その一方、更新ということについてなんですが、今回、一斉に導入されるということなんですが、本当は段階的に入れて、段階的に更新を図っていくというのが、普通なのかなと思っておりますが、今回、一斉に導入されるということで、次期の更新を考えた場合、どのように更新を考えているのか。あと、予算的な裏づけについては、どうなっているのか。今回は、ほとんどが国の予算だと思っておりますが、将来的なところがわかっているならば教えていただきたい。



○戸沼学校教育課長 タブレット端末の更新に関する質問ということでございますが、まず、杉野委員がおっしゃるように、今までは、パソコン教室のパソコンの整備も単年度に大きな予算にならないように、各年度に年次計画ということで、平準化した形で取り組んできております。

ただ、今回は、国のほうで、今年度中に整備という目標を掲げておりますので、一遍に整備させていただくということになっております。ほかの自治体の状況を見ますと、ほとんどが購入をされているんですが、岩見沢市は、珍しいリース方式での契約を取っております。リースは、60回、要は5か年の契約になりますので、その期間が来ると、基本的には更新を考えないといけないということになりますので、今の段階では、そのタイミングで新しい機種に更新できることを優先して考えていきたいと思いますが、これは財政的に大きな予算を伴いますので、財政部局とも十分な協議があるものと考えています。国のほうの支援も、今の段階で5年後の更新についてどうなるのか、まだ見えておりません。今は、交付税で一部措置されているという状況ですが、それが、かさ上げされるのかどうかということもあると思いますが、いずれにしても、国の動向等も踏まえて、次の更新に困らないような準備を続けていきたいという考えです。

以上でございます。

○三角教育長 ほかございますか。よろしいでしょうか。

それでは、この件について、ご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 議案第50号につきましては、原案のとおり、決定いたします。

続きまして、その他に移ります。委員の皆さんから何かございませんか。

(「なし」という声あり)

○三角教育長 特になければ、事務局から何かありませんか。

なければ、来月の定例会の日程についてですが、10月21日水曜日に開催したいと思います。委員の皆様よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 午前10時からということで、よろしいでしょうか。場所については、であえーる岩見沢4階の会議室1で行います。

それでは、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、第9回教育委員会定例会を終了させていただきます。ご苦労さまでした。

午前10時28分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員